

島人ぬ宝（アレンジ）

本調子

1/2

（前奏）

工 ○ 王 中 六 七 工 ○ 王 中 六 七 工 ○ 王 尺 中 四 ○ 合 ○ ○

ぼくがうまれた このしま の そらを

中 合 中 尺 工 四 工 四 七 七 ○ 五 五 七 工 四 工 四

ぼくはどれくらい しまって るん だろう

七 四 五 合 工 四 中 中 尺 上 中 工 中 上 合 四 工

かがやくほしも ながれる く も も

中 ○ 中 中 尺 工 四 工 四 七 七 ○ 五 五 七 工 四 工 合

なま え を き かれて も わ か ら な い 合 工 四

七 四 五 合 工 四 中 尺 ○ 上 中 上 四 四 合 工 四

も だれよりも だれよりも している

四 上 ○ 上 四 上 中 ○ 合 工 五 五 ○ 五 王 ○ 尺 工 ○ 合

かなしいときも うれしいときも なん ども みあげて

四 四 上 ○ 上 ○ 四 上 中 ○ 中 ○ 中 尺 ○ 尺 尺 ○ 尺 尺 ○

いた このそら を きようかしよ

尺 尺 尺 王 工 五 ○ 王 ○ 合 ○ 四 工 ○ 七 ○ 六 ○ 工 七 六

に かい て ある こと だけ じゃ わ か ら な い た

○ 七 ○ 工 七 六 ○ 七 ○ 工 王 ○ 七 六 ○ 七 七 七 ○ 尺 尺 ○ 工 ○ 工

いせつな もの が きつと ここに ある は ず さ

七 六 ○ 七 ○ 工 王 ○ 七 六 ○ 七 工 五 五 ○ 五 七 ○ 七 七 ○ 五 ○ 工 中

それが し ま ん ち ゆ の た か ら

○ 五 王 中 上 ○ 上 中 上 ○ 四 四 ○

僕が生まれた この島の唄を

僕はどれ **島人ぬ宝** (アンドンジ)
トウバラ **島** マも **宝** (アンドンジ)

言葉の意味さえ 解らない

でも誰より 誰よりも知っている

祝いの夜も 祭りの朝も

一、
とこれから聴こえてくる この唄を

島人ぬ宝 (アンドンジ)
いつの日か この島を離れてく その

日まで

たいせつなものをもつと 深く知っ

僕がいた 僕がいた この島の空を

僕がいた 僕がいた この島の空を

う

輝く星も 流れる雲も

名前を聞かれても わからない

でも 誰より 誰よりも知っている

悲しい時も 嬉しい時も

何度も見上げていた この空を

教科書に書いてあることだけじゃ

解らない

たいせつなものがきつと ここにあ

るはずさ

それが島人ぬ宝

2 .

僕が生まれた この島の海を

僕はどれくらい 知ってるんだろう

汚れてくサンゴも 減っていく魚も

とうしたらいいのか 解らない

でも誰より 誰よりも知っている

砂にまみれて 波にゆられて

少しづつ変わっていく この海を

テレビでは映せない ラジオでも流

せない

たいせつなものがきつと ここにあ

るはずさ

それが島人ぬ宝